

MDF2024

次世代医療システム産業化フォーラムの取り組み

大阪商工会議所
産業部ライフサイエンス振興担当

大阪商工会議所中期ビジョンの
 戦略分野に位置づけ、
 スポーツ・健康・医療の
 ウェルネスビジネス創出を
 シームレスにサポート

2. ウェルネス ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」でマッチングから販路開拓まで包括支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップの発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン

概要版

大阪の国際競争力強化と持続的成長

2025年大阪・関西万博を活かしながら地球環境や人類のウェルビーイング、社会課題解決に貢献するイノベティブな産業の集積をめざす「価値創出・課題解決プロジェクト」、大阪経済を支える中小企業の成長を後押しする「経営基盤強化パッケージ」の総計41事業を展開

ユーザーをも巻き込んで
 未来をデザイン

2025年大阪・関西万博・スーパーシティ

- 万博に向けた機運醸成・参画の支援
- 大阪ヘルスケアパビリオンへの出展を支援
- 都心部での魅力発信とビジネス交流を支援

若者活躍・挑戦応援

価値創出・課題解決プロジェクト

1. ものづくり× イノベーション

- 次世代テックフォーラムで異分野・異業種・同業種の連携促進
- 全国の商工会議所と連携し、スタートアップと中小企業をマッチング
- 町工場同士の横請けに加え、スタートアップとの試作開発で価値創出加速
- 繊維・アパレル分野のイノベーションを促進、発信

2. ウェルネス ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」でマッチングから販路開拓まで包括支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップの発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

3. 都市魅力 再構築

- 万博を見据え、なんば駅前広場、あびのきた、御堂筋など整備が進む都市空間を活かした都市魅力の創出
- グレートミナミの産業振興、観光交流等の活性化を支援
- 食や文化を活かした観光の高付加価値化による、インパウンドの受入れ促進
- 商店街観光の振興

4. まちなか リビングラボ

- 「未来社会の実験場」を大阪全体で「まちなかりビングラボ」として展開
- 大阪府・大阪市・大商による「実証事業推進チーム大阪」で、国内外へのPR強化、都心シンボル空間での実証支援を拡充

経営基盤強化パッケージ

5. 稼ぐ力強化

- 本部・支部による資金繰り支援等の経営相談
- 中小企業活性化協議会、事業承継・引継ぎ支援センターによる事業再生・事業承継支援の強化
- 事業の再生・承継の支援強化
- デザイン思考を活用した新事業創出支援

6. 人的資本強化

- 大学等と連携した社会人の学び直し（リスキリング）支援
- 女性・外国人等多様な人材の活躍推進
- 大学と企業の情報交換会、若手人材のネットワーク構築等、若手人材の確保・活躍推進
- 講座、検定、大阪企業家ミュージアムで、中小企業の人材育成を支援

7. 商流創造・ グローバル展開

- 「大阪勤業展」「買いませっ! 売れ筋商品発掘市」等各種商談会による販路開拓を支援
- 全国の商工会議所によるザ・ビジネスモールを活用したオンライン商談支援
- 中小企業の万博参画を促す、万博関連受発注支援サイトの運営
- 中小企業のアセアン地域進出を支援するプラットフォーム運営

インフラ整備

提言・要望

ウェルネスビジネス創出プロジェクト全体像

- 創薬や医療機器、ウェルネス、スポーツの各『基幹プラットフォーム』において、産学連携や企業間連携等、共創を進める。
- 各プラットフォーム相互の共創も進め、スタートアップや多様なものづくり、デジタルテック、環境テックを有する企業等の参画により、『融合分野』における取り組みを強化し、『これからの健康・医療』に求められる製品、サービス、プロジェクトの創出を加速する。
- 『Well-being 融合領域イノベーション会議』を開催し、広く『融合』の重要性を周知、異分野間の意見交換や企業の『共創』に関する意見把握を実施する。
- 多彩な業種、規模の企業が新たなビジネスチャンスを得るとともに、健康医療の課題を解決することにより社会貢献を実現する。

融合分野の拡大 (今後注力する新たな取り組み) + 【5】『Well-being 融合領域イノベーション会議』の実施

【1】未来の医療

患者や医療従事者の負担を軽減する『優しい病院』や『環境対応の医療』の実現に必要な、製品・設備・システム、サービス等の開発を促進

【3】途上国の医療課題解決

途上国の健康・医療の課題を日本のものづくりで解決するとともに、日本企業の新市場を開拓

【2】未来のウェルネスビジネス創出

万博大阪館中小企業展示の機会活用やうめきた等での実証・実装を通じ、『日常に溶け込むヘルスケアビジネス』創出や、『スマート・ウェルネス』を実現

【4】グローバルコミュニティ形成

MedTech Actuator連携によりスタートアップの発掘、育成を進めるとともに、スタートアップ・エコシステム確立のための国際的なネットワークを構築

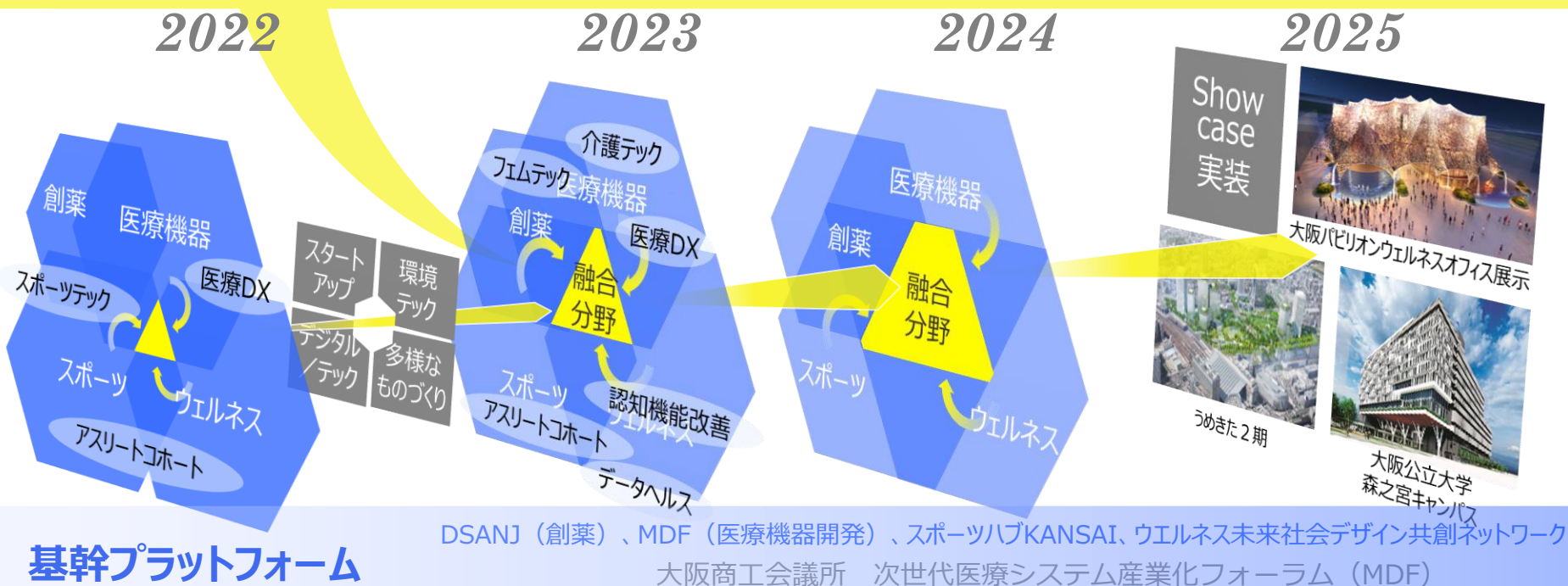
Purpose

イノベーション加速と 新ビジネス創出

健康医療産業の輸出産業化
スタートアップの創出・成長
多様な企業のビジネスチャンス
ものづくり企業の変革

国内外の 医療課題の解決

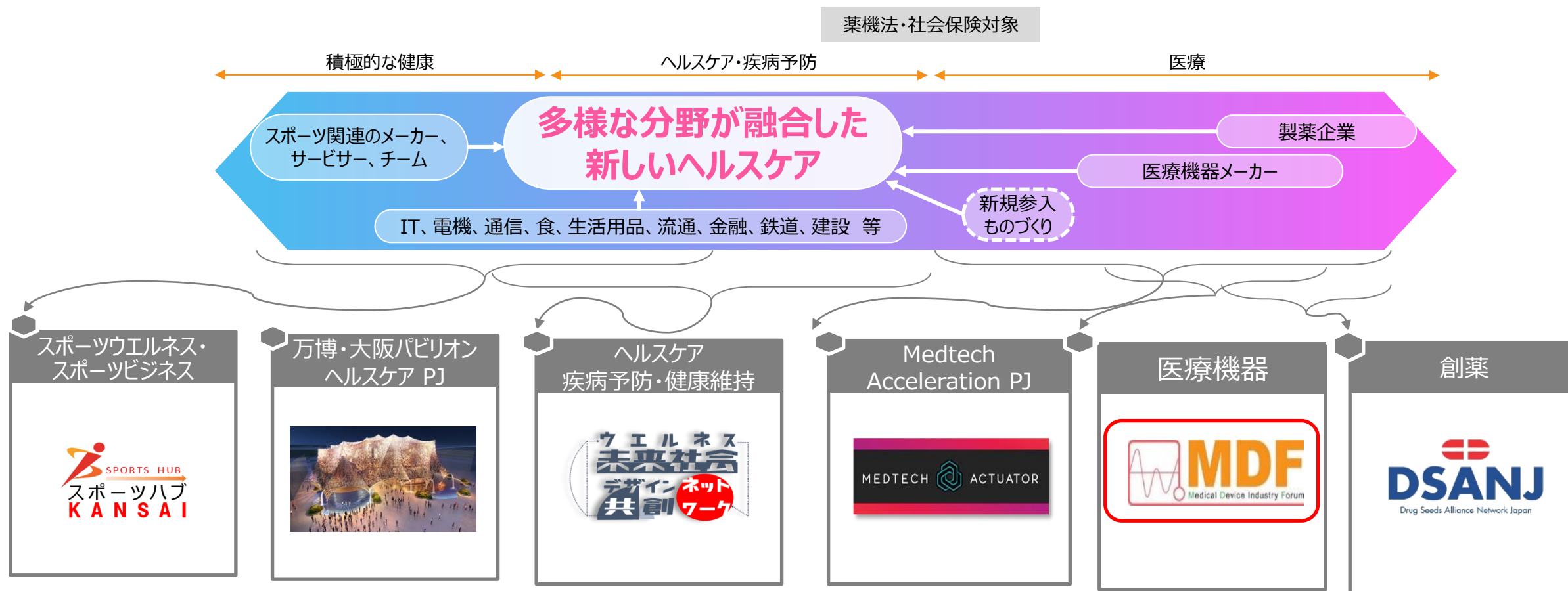
健康寿命の延伸
グローバルヘルスへの貢献



基幹プラットフォーム

DSANJ (創薬)、MDF (医療機器開発)、スポーツハブKANSAI、ウェルネス未来社会デザイン共創ネットワーク
大阪商工会議所 次世代医療システム産業化フォーラム (MDF)

最先端医療のための創薬、医療機器開発から、未病予防対策のヘルスケア（非医療）、スポーツによるカラダづくりまで、幅広い範囲における研究開発支援・事業化支援を実施



大阪商工会議所は、全国の医療機関、大学、研究機関、企業のネットワークを有し、産学連携や、企業間連携、を促進する事業を実施。国内外の市場展開を対象にした個別の事業支援も多数行っている。

医療機器等開発の総合支援プラットフォーム 医工連携、企業間連携、事業化支援促進

1. 事業目的

- 異業種からの医療への新規参入促進による新ビジネス創出
- 医療機器分野のイノベーション創出エコシステム

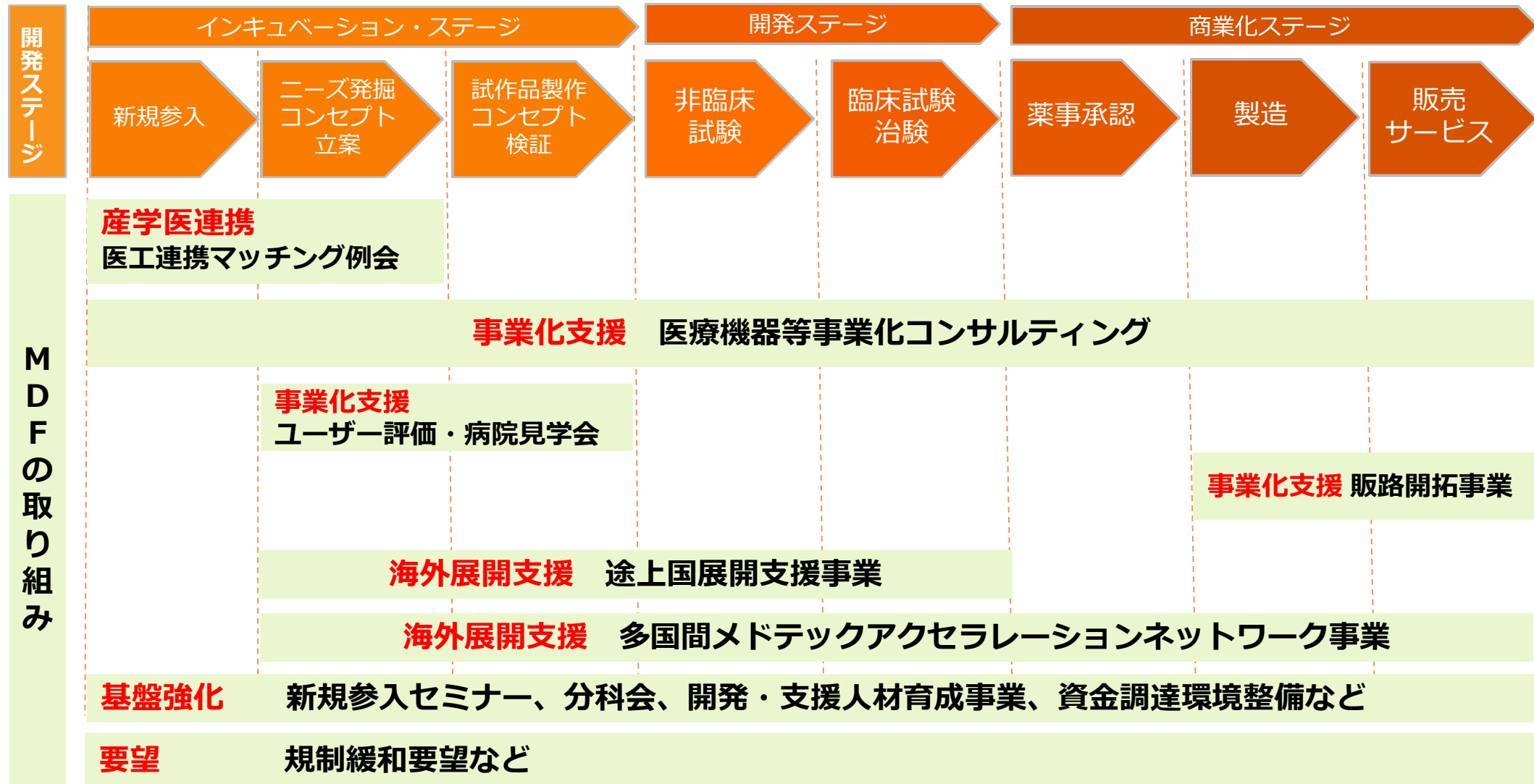
2. 特長

- 全国初の医工連携プラットフォーム（2003年～）
- 全国の病院・大学・研究機関・企業対象のプラットフォーム
- あらゆるステージにおける事業化支援を可能にする体制
- 欧米アジアとのグローバルネットワーク構築

3. 主なプログラム

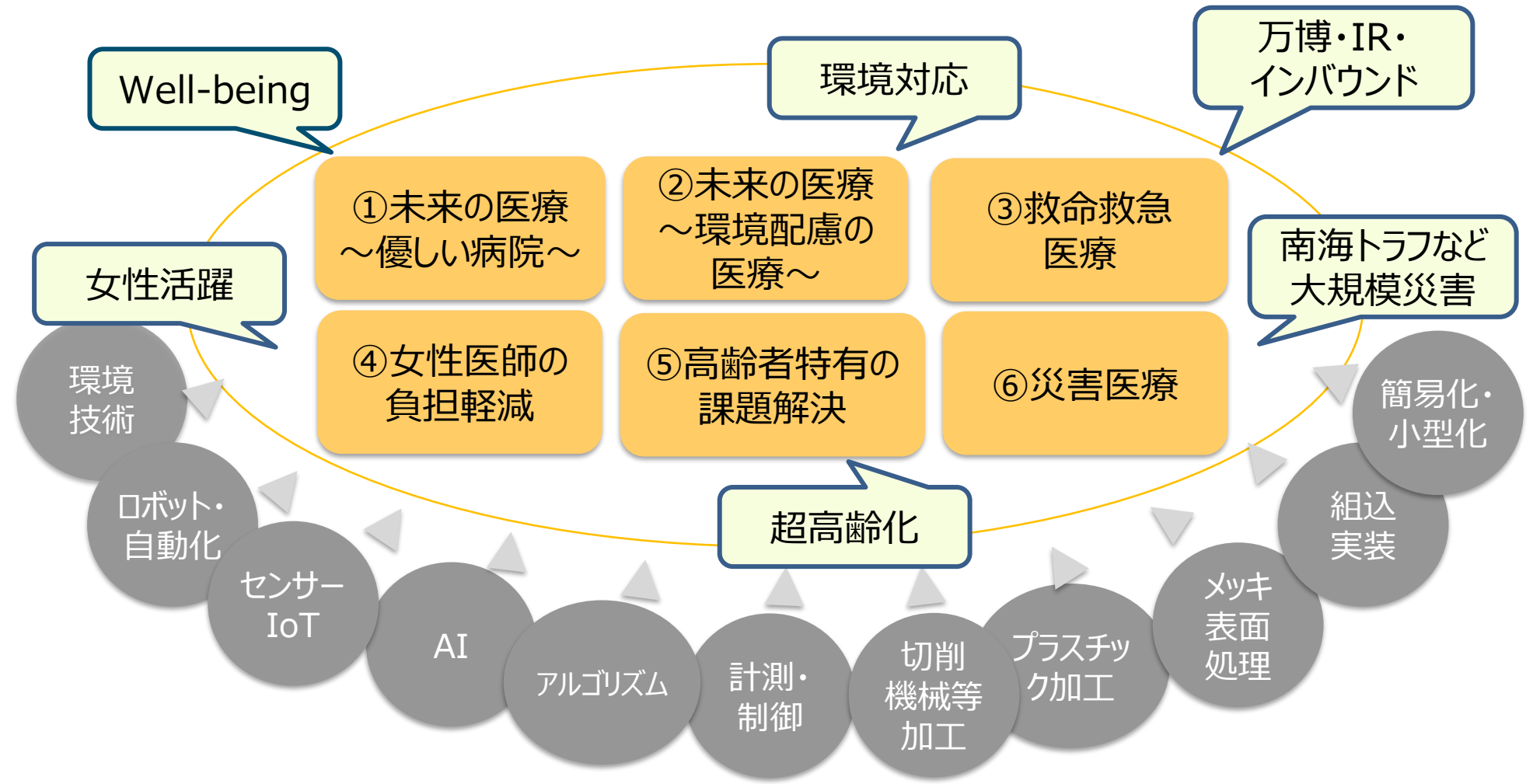
- 医工連携マッチング事業：年間40件以上の医療現場ニーズ・シーズを企業に対して発表（2023年度:45件）
- 事業化コンサルティング：20名超の専門人材があらゆる相談に対応（2023年度:321社/528件）
- 医療機器等ユーザー評価事業：医療従事者が開発・試作品等を評価（2023年度:11件）
- 販路開拓支援：医療機器メーカー・販売会社に対する売込商談会を実施（2023年度:56件商談）

全国唯一の医療機器等開発エコシステム構築



社会的なテーマに連動した医療ニーズにも注目し、さらなる中小企業の参入促進を図る

- 医療機器事業における新たな視点**
 社会が求めるテーマに関連する医療現場ニーズに注目
- 新たな視点**
 『Well-being』
 『環境』
 『女性活躍』
 『南海トラフ』等災害
 『万博・IR・インバウンド』
- 中小モノづくり企業の活躍**
 医療そのものではなく、医療を提供する環境や、病院外にも、多くのニーズが潜在。
 こうした課題解決は、
 中小企業のモノづくりが必要になる場合が多い。



今後注目する医療現場ニーズを解決するには、
 新たなテクノロジーの導入だけでなく、**中小ものづくり企業の技術がより重要となる**

貴社の技術を医療・介護・福祉へ活用！ 社会課題の解決に貢献！

本フォーラムで、多様な企業が活躍中！

- ・新規事業を探索している中堅・大企業
- ・小ロット多品種製造を得意とする中小企業
- ・オンリーワンの部素材・加工技術を持ったモノづくり企業
- ・現場の声を速やかに製品に反映できる機動力を持った企業
- ・医療機器開発・事業化をサポートするサービス業者

上記のほか、医療機器メーカー・医薬品メーカーも参加！



医療分野のビジネスに参入したいが、どのように進めていけばよいのでしょうか？

自社の技術をどのように医療分野等で活用できるか、具体的な参入事例・方法をご紹介します、参入をサポートいたします。

どのように参入すべきかお悩みの企業様はまずはご相談ください！

本フォーラムに入会するとこんなメリットが！

- ・医療現場の課題・ニーズを把握することができる！
- ・個別に医療従事者と議論をできる場が得られる！
- ・普段目にする事のできない医療機関の中が見られる！
- ・開発中の製品を医療従事者に評価してもらえ！用途開発も！
- ・医療現場のみならず開発に取り組む企業とも知り合える！

対象企業

健康・医療・介護機器開発等に関心がある企業(これから参入予定の企業を含む)。企業規模、事業内容、所在地に制限はありません。

参加料・サービス対応表

会員区分	参加費 (年額,税込)		主なサービスの利用可否				
	主催・共催 会議所会員	左記 非会員	例会	分科会	事業化 支援	ユーザー 評価	病院 見学会
正会員	¥140,000	¥195,000					
正会員 (資本金 3 千万円以下)	¥120,000	¥165,000	○	○※2	○	○ 有料	○ 有料
正会員 (ベンチャー企業※1)	¥70,000						
分科会 会員 (料金は一つの分科会あたり)	¥70,000 ※2024年度無料		—	○※2	○ 正会員優先	—	○ 有料 正会員優先
特別会員 (大学・医療機関・公的研究機関等)	無料		○ 面談不可	○※2	—	—	—

・法人毎にご登録下さい。(参加登録した企業の子会社、関係会社の方も別途上記参加費が必要です。)

・上記の参加費で年間すべての例会に、参加企業の方であれば何人でもご参加いただけます。但し、交流会等は実費をその都度申し受けます。

・正会員につき、10月以降に参加申込みの場合は上記金額の半額となります。

※1 創業5年未満かつ資本金3億円以下で、他の事業会社が単独で発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有または出資をしていない企業。

※2 分科会はイベント毎に別途参加費を設ける場合があります。

[詳細・お申込みはHPまで] <https://www.osaka.cci.or.jp/mdf/admission/>

参加数は分科会含め のべ**1,748社 4,371名!**

※2024年3月時点

区分		参加企業・参加者数	
企業正会員数 (正会員等、有料参加企業)		122社 (有料会員)	
会員登録者数 (企業正会員、医療機関等の特別会員の登録者)		660名	
分科会	デジタル医療	724社	1,787名
	看護・在宅医療	367社	727名
	介護・福祉	318社	640名
	再生医療等	241社	557名

医工連携マッチング例会実績 (2024年3月時点)



	課題提案数 (例会発表案件数)	マッチング数 (関心社・研究者との 個別面談数)	面談後進展数 (左記マッチング からの発展)
累計 (2003年開始時~)	958件	3,334件	496件
2023年度	45件	158件	20件

MDF事業化実績

事業化
(上市等)
72件

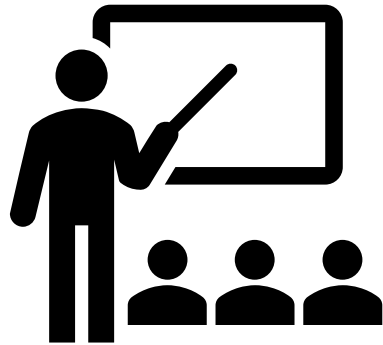
※MDF関連事業での
事業化15件を含む

<主なサービス> ※他にも充実した支援を提供！

1. 医工連携マッチング例会（年8回・40件以上のニーズ提案！）
2. 医療従事者・研究者等との個別面談
3. 医療機器等事業化コンサルティング
4. ユーザー評価（周辺機器・設備・サービスも対象）
5. 販路開拓支援（売込商談会／国内外展示会共同出展）
6. 病院・企業見学会（関係者解説・意見交換付き）
7. 分科会（「デジタル医療」「看護・在宅医療」「介護・福祉」「再生医療」を深掘り）
8. 各種セミナー（最新情報提供、新規参入セミナー他）
9. 海外連携（海外展開を見据えた案件育成など）
10. 人材育成（医工連携事業化人材の育成など）

会員間の交流・連携促進に向けた取り組みも益々充実しております。

<一般的な流れ>

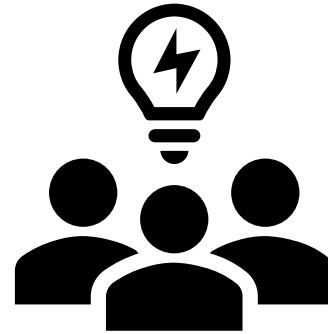


①医療現場のニーズ収集 (年間8回程度)

- 全国各地の医療従事者等が企業に対して現場ニーズ等を発表
- 各回5~6名程度が登壇し、昨年度は45件のニーズを提示



事務局へ
面談希望連絡



②個別面談(企業×医療従事者)

- 専門知識を有するアドバイザー同席のもと、ニーズを解決するための提案を有する企業と発表者の個別面談を実施。
- 昨年度の実績は158件。



③共同研究・開発をスタート

- 合意すればNDAの締結等を行ったのち、共同研究・開発をスタート
- 専門アドバイザーが相談に応じ、面談後の事業化をサポート

【モデレーター】次世代医療システム産業化フォーラム座長代表 楠岡英雄氏（独立行政法人国立病院機構理事長）

◆挨拶・事務局説明 13:00～13:20

◆第一部：最新情報提供セッション（13:20～14:20）

13:20～14:20 「経済産業省における医療機器産業政策について」

経済産業省 医療福祉機器産業室長 遠山毅氏

～休憩（10分）～

◆第二部：共同開発提案セッション（14:30～16:45）

14:30～14:55 「新規の内視鏡施行同時に食道内圧を測定する方法の開発」

岡山大学病院総合内科 助教 杉原雄策氏

14:55～15:20 「立体描写性を高める腹腔鏡上方照明システムのための照明デバイスの開発」

愛媛大学大学院 医学系研究科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 講師 高井昭洋氏

15:20～15:45 「リンパ浮腫患者に対するリンパ管機能測定器の開発」

国立がん研究センター中央病院 形成外科 がん専門修練医 田代絢亮氏

～休憩（10分）～

15:55～16:20 「フレキシブル基板を用いた視覚誘発電位用光刺激装置の開発」

山口大学医学部附属病院 脳神経外科講師（学術研究員）井上貴雄氏

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座 教授鈴木倫保氏

16:20～16:45 「医療機器電源コードの無線化」 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 楠本繁崇氏

■交流会：17:00～18:00



▲ 例会の様子

▼ 交流会の様子



全国医学部・医療機関・研究機関等とのネットワーク（全国175機関と連携）

機関名	機関名	機関名	機関名	機関名	機関名
1 旭川医科大学	31 東海大学	61 静岡大学	91 大阪公立大学	121 淡路医療センター	151 徳島文理大学
2 札幌医科大学	32 東京医科歯科大学	62 浜松医科大学	92 大阪赤十字病院	122 北播磨総合医療センター	152 香川大学
3 北海道大学	33 東京工科大学	63 愛知医科大学	93 大阪大学	123 神戸市機械金属工業会	153 愛媛大学
4 弘前大学	34 東京工業大学	64 加藤外科産婦人科・乳腺クリニック	94 大阪電気通信大学	124 神戸大学	154 国立病院機構四国がんセンター
5 岩手医科大学	35 東京慈恵会医科大学	65 国立長寿医療研究センター	95 大阪脳神経外科病院	125 市立伊丹病院	155 高知大学
6 仙台厚生病院	36 東京女子医科大学	66 中京病院	96 大阪府作業療法士会	126 (財)先端医療振興財団	156 小倉記念病院
7 東北大学	37 東京大学	67 中部大学	97 大阪府立急性期・総合医療センター	127 西神戸医療センター	157 九州産業大学
8 秋田県産業技術総合研究センター	38 東京電機大学	68 豊橋技術科学大学	98 大阪府立成人病センター	128 東神戸病院	158 九州大学
9 秋田大学	39 東京都医学総合研究所	69 名古屋市立大学	99 大阪府立大学	129 姫路聖マリア病院	159 九州工業大学
10 筑波大学	40 東京農工大学	70 名古屋大学	100 大阪府立母子保健総合医療センター	130 兵庫医科大学	160 久留米大学
11 物質・材料研究機構	41 東京理科大学	71 三重大学	101 大阪保健医療大学	131 兵庫医療大学	161 産業医科大学
12 自治医科大学	42 東邦大学	72 滋賀医科大学	102 国立病院機構大阪南医療センター	132 兵庫県立大学	162 福岡工業大学
13 群馬大学	43 東洋大学	73 長浜バイオ大学	103 関西医科大学	133 武庫川女子大学	163 福岡大学
14 介護老人保健施設遊	44 虎の門病院	74 京都桂病院	104 関西大学	134 山本歯科医院矯正歯科クリニック	164 福島県立医科大学
15 防衛医科大学校	45 日本医科大学	75 京都工芸繊維大学	105 近畿大学	135 天理よろづ相談所病院	165 佐賀大学
16 理化学研究所	46 日本原子力研究開発機構	76 京都第二赤十字病院	106 国立循環器病研究センター	136 奈良先端科学技術大学院大学	166 長崎大学
17 千葉大学	47 日本大学	77 京都大学	107 産業技術総合研究所	137 奈良県立医科大学	167 熊本大学
18 量子科学技術研究開発機構	48 早稲田大学	78 京都府立医科大学	108 市立東大阪医療センター	138 和歌山県立医科大学	168 大腸肛門病センター高野病院
19 北里大学	49 川崎市立多摩病院	79 京都府立大学	109 吹田徳洲会病院	139 鳥取大学	169 大分大学
20 慶應義塾大学	50 国立医薬品食品衛生研究所	80 京都民医連あすかい病院	110 大正くすのきクリニック	140 島根大学	170 宮崎大学
21 国立がん研究センター	51 聖マリアンナ医科大学	81 武田総合病院	111 高槻病院	141 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構	171 鹿児島大学
22 国立国際医療研究センター	52 横浜国立大学	82 同志社大学	112 高橋クリニック	142 岡山大学	172 松岡救急クリニック
23 国立成育医療研究センター	53 新潟大学	83 西陣病院	113 篤友会坂本病院	143 川崎医科大学	173 琉球大学
24 国立病院機構本部	54 富山大学	84 三菱京都病院	114 富永脳神経外科病院	144 倉敷芸術科学大学	174 オックスフォード大学
25 産業技術大学院大学	55 金沢医科大学	85 立命館大学	115 仁悠会吉川病院	145 広島大学	175 クランフィールド大学
26 芝浦工業大学	56 金沢大学	86 大阪医科大学	116 ハートフリーやすらぎ	146 関門医療センター	
27 昭和大学	57 北陸先端科学技術大学院大学	87 大阪市立大学	117 ヘルランド総合病院	147 周東総合病院	
28 中央大学	58 福井大学	88 国立病院機構大阪医療センター	118 増原クリニック町田市民病院	148 長門総合病院	
29 帝京大学	59 岐阜大学	89 大阪警察病院	119 箕面市立病院	149 山口大学	
30 電気通信大学	60 静岡県立静岡がんセンター	90 大阪工業大学	120 りんくう総合医療センター	150 徳島大学	

高齢化、観光復活、万博開催によるインバウンド増加や、大規模災害発生は、**医療事案の増加**を招く。一方、2024年度から医師の残業規制がはじまり、**医療の担い手不足は加速**する。本カンファレンスは、多様な企業が医療現場の課題解決を担うことで、**新たなビジネス開拓や、社員の安全安心を重視**した経営を実現し、**企業価値向上**にもつなげてもらうための事業。テーマは、大阪・関西の特徴的な課題に焦点をあて、**国内外からの来訪者増にも対応できる『救命救急医療』、いつ起こるかわからない災害に備える『災害医療』、医療従事者、患者の負担を軽減する『優しい病院』**。いずれも万博の「いのち輝く未来社会」を支える分野。

開催概要

「いのち輝く未来社会」実現にむけた共創カンファレンス ～『これからの社会が求める医療』をテーマに社会課題解決への挑戦を～

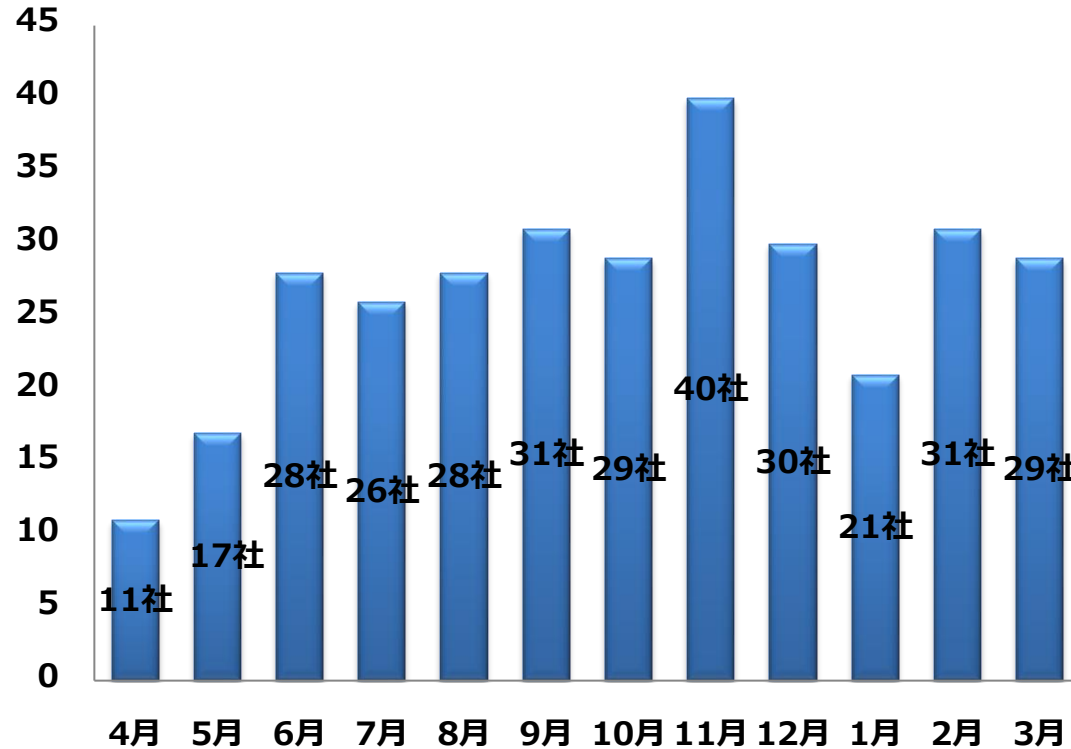
日時 2023年10月11日(水) 13:00～17:50
 場所 大阪商工会議所 7階国際会議ホール
 主催 大阪商工会議所
 特別協力 国立病院機構大阪医療センター-Bi-AMPS
 (一社) 夢洲新産業・都市創造機構
 (公財) 都市活力研究所
 後援 (一社) 2025年日本国際博覧会協会
 近畿経済産業局 大阪府 大阪市
 (公財) 大阪観光局
 参加者 159社・機関 218名
開催結果 面談実施件数：22件



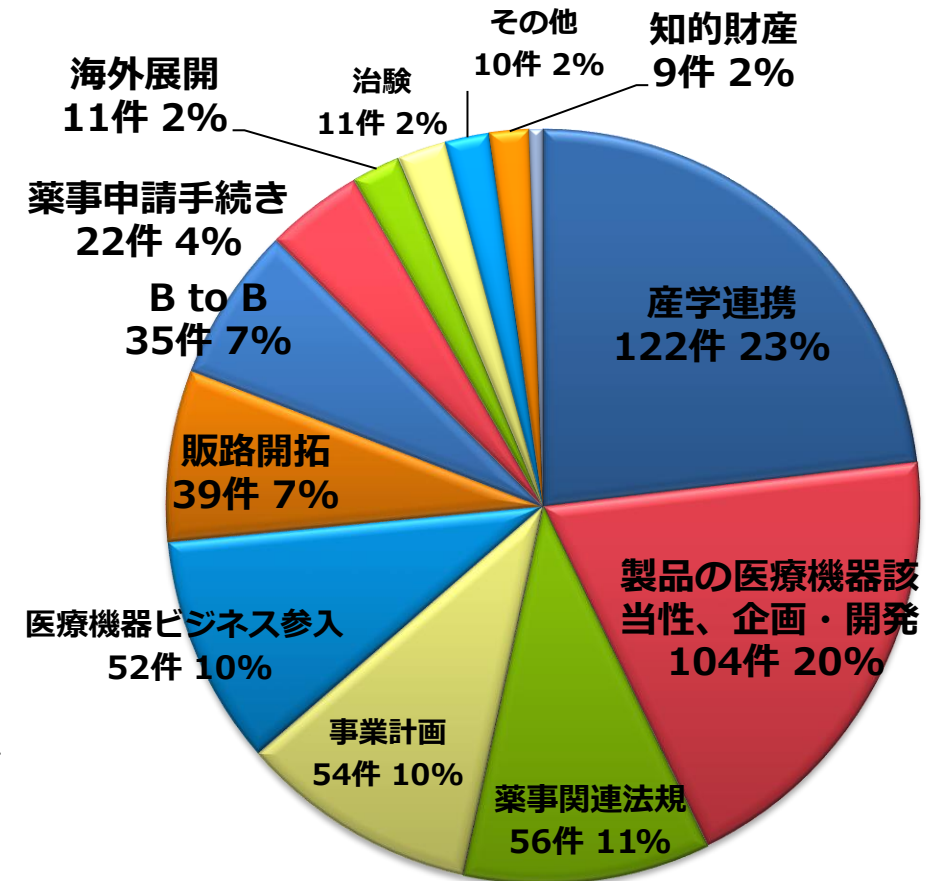
各企業が医療機器の開発や事業化を推進する際に直面する課題について専門家が個別にアドバイスする機会を提供。

2023年度 事業化相談社数合計 321社(528件)（2023年4月～2024年3月）

月別相談社数



相談内容



医療・介護現場のニーズに即した製品開発の促進を目的に、医療・介護従事者に開発中の製品をみてもらい、改良・開発につながるコメントをもらう機会を提供。

2023年度実施例

No	実施日	案件名	評価機関
1	4/7	輸液ポンプ	大阪医療センター
2	5/10	搬送アシスト装置	大阪医療センター
3	6/5	医療機器・検査薬包装	大阪医療センター
4	6/15	電源管理装置	大阪医療センター
5	6/19	電磁波防止シート	大阪医療センター
6	7/19	空気感染対策機器	大阪医療センター
7	9/11	術後患者モニタリング	大阪医療センター
8	9/25	カテーテル自己抜去対策装置	大阪医療センター
9	10/23	防水シート	大阪医療センター
10	11/6	小口径筒状カバー	大阪医療センター
11	2/26	物理治療器	大阪南医療センター



評価者の例

医師、看護師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、手術部医師、救命救急士、臨床工学技士、言語聴覚士など

異業種から医療機器産業へ参入、参入して間もない中小企業等にとって課題となる医療機器メーカー・商社との連携を支援するための売込商談会を年間2回実施。中小企業単独ではアクセスが困難な企業との橋渡しを実現。

<一般的な流れ>



<開催実績>

製品・試作品編

商談申込 : 28社63件
 商談実施件数 : 35件

買い手企業 : 4社
 オルバヘルスケアホールディングス、
 三笑堂、ハクゾウメディカル、
 ボストン・サイエンティフィックジャパン



部素材・技術編

商談申込 : 20社27件
 商談実施件数 : 21件

買い手企業 : 2社
 常光、大研医器



医療機関と連携し、企業が病院現場を見学する機会を提供。診療科・部門ごとの業務フローや課題、使用される機器についての理解を促進する。見学後に医療従事者とのディスカッションも実施。

テーマ：重症救急初期診療

第1回(救命救急センター)
10月30日(月)
16:30~18:30

<プログラム>

- ・救命救急センター レクチャー
「重症救急初期診療の流れ」
「患者搬送後の救命救急での処置」
- ・現場見学
- ・ディスカッション

<参加者数>
18名

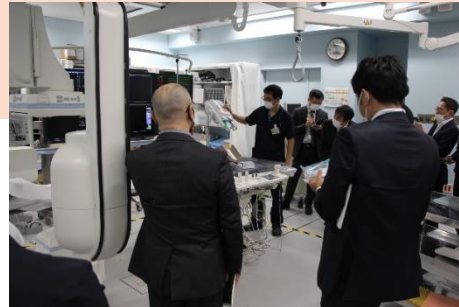


第2回(放射線科)
11月27日(月)
16:30~18:30

<プログラム>

- ・放射線科 レクチャー
「救命救急処置後の検査」
- ・現場見学
- ・ディスカッション

<参加者数>
15名



第3回(臨床工学室)
12月11日(月)
17:15~19:15

<プログラム>

- ・臨床工学室 レクチャー
「放射線科検査後の処置」
- ・現場見学
- ・ディスカッション

<参加者数>
18名



多様化する事業機会をとらえて、テーマごとに4つの分科会を設け、情報提供や交流・マッチングを実施する。

デジタル医療分科会（2018～）

急速に拡大するデジタルヘルス=AI,IoT等のデジタル技術を駆使した健康・医療分野における課題解決 に関する取り組みを紹介



登録者数 802社1,898名（2023.2現在）

看護・在宅医療分科会（2019.5～）

規制対象となる医療機器のみならず、業務補助や生活支援も含む医療現場ニーズ商機を探る



登録者数 394社740名（2023.2現在）

介護・福祉分科会（2019.8～）

今後一層の人材不足が懸念される介護福祉分野の課題・動向を紹介する



登録者数 336社642名（2023.2現在）

再生医療等分科会（2019.9～）

再生医療等に関する課題やビジネス展開のヒントとなる取り組みを紹介する

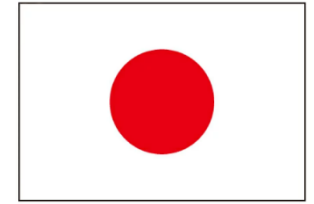


登録者数 261社572名（2023.2現在）

日本初の医療機器の輸出促進を目的に、JICAと連携してモンゴルのビジネス環境や日本企業の進出可能性、現地の医療ニーズ紹介などを行った。後日医療ニーズへの提案を募り、同病院のとのマッチングを行った。

開催概要

日時：2023年11月30日（木）15：00～17：30
会場：オンライン開催(zoom)
主催：大阪商工会議所、(独)国際協力機構（JICA）
共催：関西医療機器産業支援ネットワーク（事務局：近畿経済産業局）
モンゴル日本人材開発センター
後援：(公社)2025年日本国際博覧会協会



プログラム

「モンゴルにおけるビジネス環境について～日本企業の進出可能性」

モンゴル日本人材開発センター JICA ビジネス交流支援専門家 中村 功 氏

「モンゴル-日本病院 JICAプロジェクトを通して経験したモンゴルの医療事情」

徳島大学 特命教授 苛原 稔 氏

「保健医療現場からのレポート」

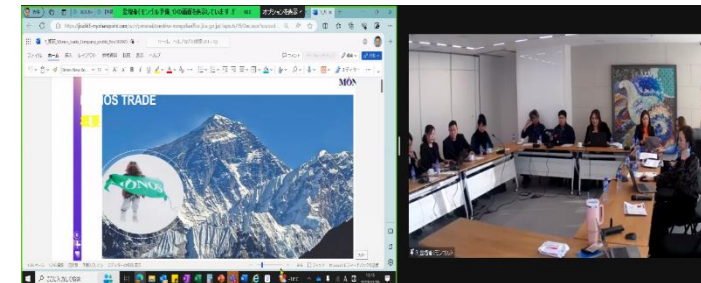
スフバートル区保健センター 保健師（JICA海外協力隊員）山下 恵 氏

「半年間の活動におけるモンゴル歯科医療現場の紹介と考察」

ウランバートル市歯科センター 歯科衛生士（JICA海外協力隊員）青木 麻紀 氏

「モンゴルにおける医療ニーズ発表<日本の企業・製品・サービスに求めるもの>」

(MONOS有限責任会社、CIT有限責任会社、インターメド病院、Intellect investment有限責任会社/Liftronik有限責任会社)



<モンゴル側登壇者らとオンライン接続>

開催結果

セミナーには**83名**が参加。マッチングは**7社**から提案があり、個別面談を実施し、事業化の検討を進める。

健康・医療分野におけるグローバル・マインドを持った起業家を育成し、グローバル市場でのプレゼンスを高める、教育・国際ピッチ事業

AMEDの研究開発プロジェクトの採択を目指すような案件の国際事業性を高めるブースター事業+有望プロジェクト発掘・育成事業

ORIGIN
オリジン

EDUCATION
+ INTERNATIONAL PITCH

GLOBAL NAVIGATOR
グローバル・ナビゲーター

GLOBAL MARKET BOOSTER

OCCI
大阪商工会議所



MEDTECH
ACTUATOR

JETRO



U-FINO
UMEKITA FUTURE INNOVATION ORGANIZATION

起業前を含むアーリー期のスタートアップが対象。ただしオープンになる可能性があるため権利化されていることが望ましい

すでに製品（もしくは試作機）があるプロジェクト。スタートアップ以外の新規参入型企業のプロジェクトの参加も可

○○○○

エンジェル

シード

シリーズA

シリーズB

シリーズC

○○○○

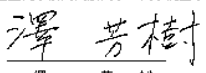
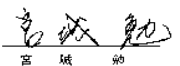
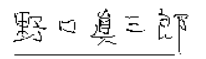
大阪・関西発の健康・医療分野におけるイノベーション創出へ！！

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院と大阪商工会議所との間の研究・事業化連携の推進に関する協定書 (Medical/Healthcare Partnership Agreement)

国立大学法人大阪大学(以下、「甲」という。)と大阪商工会議所(以下、「乙」という。)は、甲の大学院医学系研究科及び医学部附属病院と乙(以下、「各機関」という。)とが、相互の包括的な連携推進により、健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向け、組織、分野を越えた多様な連携の推進、人材の育成・交流、学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図るため、ここに連携推進協定を締結することに基づきするものである。

- 第1条 各機関の代表者は、健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向けた学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図るため、以下により連携推進を行うものとする。
 - (1) 共同研究講座の設置等による共同研究の振興と研究者の育成・交流
 - (2) 事業化に向けた知財整理、ベンチャー支援等のための人材の育成・交流
 - (3) 組織、分野を越えた多様な連携の推進による研究成果の事業化、社会活用推進に向けた新たな体制や法制度等の研究、実証事業等の実施
- 第2条 前条で定める共同研究、人材の育成・交流、等の具体的な事項は、その都度両者で意見の交換を行い調整するものとする。
- 第3条 各機関の代表者は、本協定の存続につき、第3者に明示できるものとする。
- 第4条 本協定は、協定締結の日から2年間効力を有するものとする。各機関の代表者のいずれかが本協定の満了する9ヶ月前までに書面により通知した場合は、本協定を終了することができるものとする。また、当該通知がなされない場合は、本協定はさらに2年間更新されるものとする。
- 第5条 この協定書に定める事項に疑義が生じた場合、もしくは改定の必要がある場合は、各機関の代表者が協議のうえ、処理するものとする。

この協定書は、3通作成し、各機関の代表者がそれぞれ1通保有するものとする。

平成28年4月12日 平成28年4月12日
 国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科長 大阪商工会議所 専務理事
 澤 芳 樹  宮 城 勉
 澤 芳 樹 宮 城 勉
 国立大学法人大阪大学 医学部附属病院院長
 野 口 眞 三 郎
 野 口 眞 三 郎

健康・医療分野におけるイノベーションを推進し、組織、分野を越えた多様な連携の推進、人材の育成・交流、学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図る



宮城・大商専務（左から3番目）、澤・阪大研究科長（右から2人目）、野口・阪大病院長（右端）〈当時〉

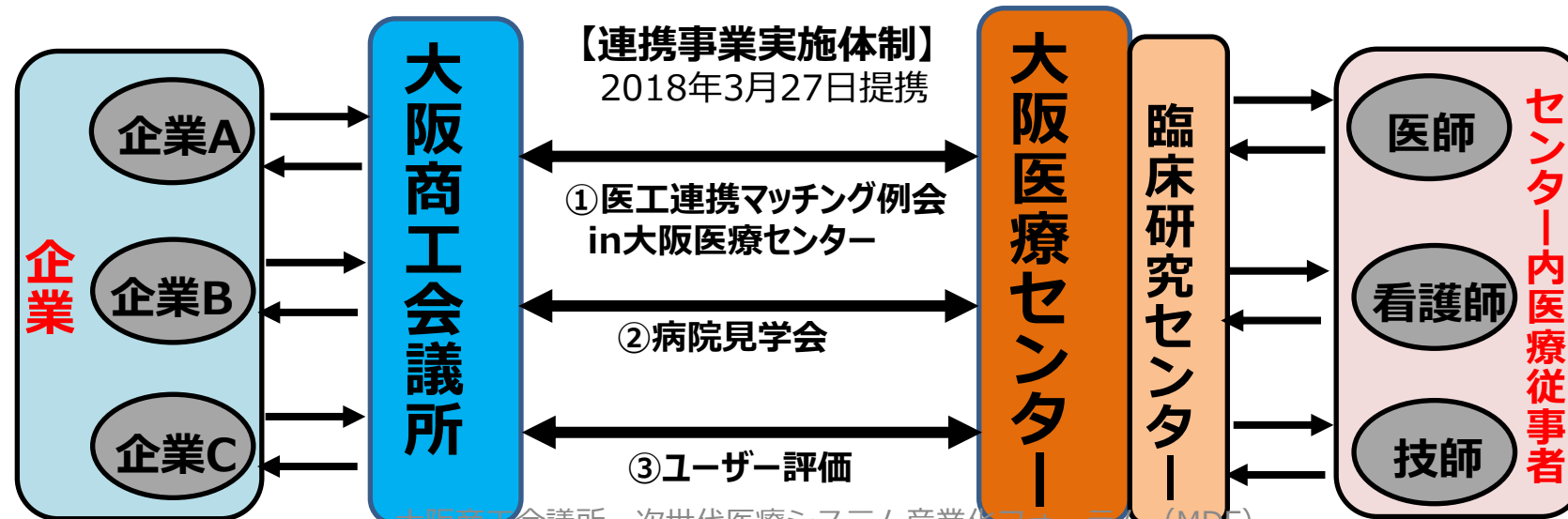
2016年4月12日 連携協定締結

■目的

- 医療機関（大阪医療センター）と産業界（大阪商工会議所）が連携し、持続的に医療現場ニーズに即した次世代の医療機器および医療システムの創出に取り組む。
- 本取り組みを通じ、大阪のみならず関西、さらには全国の産学医連携モデルの構築を目指す。

■実施事業

1. 医工連携マッチング例会
2. 病院見学会
3. 医療従事者による製品評価事業



2018年3月27日
連携協定締結

国立循環器病研究センター、国立医薬基盤・健康・栄養研究所との連携

■目的

- 西日本唯一のナショナルセンターである国立循環器病研究センターと、北大阪健康医療都市（愛称「健都」）に移転予定である国立健康・栄養研究所（国立医薬基盤・健康・栄養研究所）、及び全国を対象に健康・医療分野でのイノベーション創出に取り組む大阪商工会議所が連携し、持続的に次世代の健康や予防、医療に貢献するプロジェクトや製品・サービス・システム等の創出に取り組む。
- 本取り組みを通じ、「健都」が目指す①オープンイノベーションによる複合健康・医療産業拠点、②産学医連携による安心・安全で生き活きた生活ができる都市モデルの構築、に貢献する。



2021年2月10日
連携協定締結

AMED(日本医療研究開発機構)の「医工連携イノベーション推進事業(地域連携拠点自立化推進事業)」に採択(R3~4:地域連携拠点自立化推進タイプ、R5~6:医療機器実用化支援タイプ)。全国の経済産業局ブロックを対象に募集され、関西地域は大商が代表機関となり域内の支援機関等を取りまとめて申請・採択。

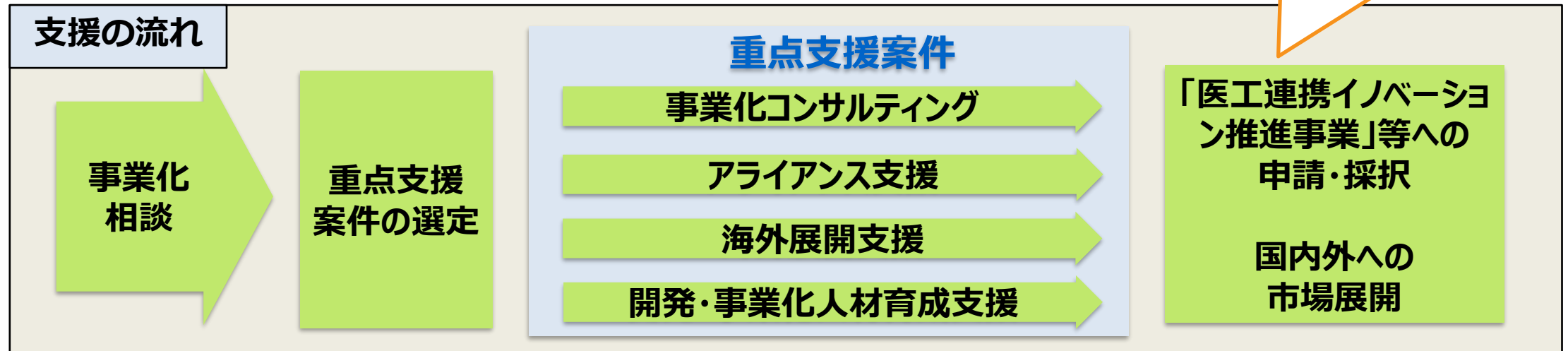
事業概要

- **高度な知識を有する事業化人材を地域の拠点に配置**し、地域の特色を活かしたニーズ・シーズの橋渡し活動等を通して医療機器開発プロジェクトを組み立てる。
- **事業化支援のためのコンサルティングや指導を行い、医療機器開発の支援を充実**させることで、**開発支援案件をAMED「医工連携イノベーション推進事業(開発・事業化事業)」の公募要件を満たす提案に育て上げる**。
- 中長期的に地域の取り組みが自立的に活動可能な支援体制を整備する。

関西地域連携拠点の取り組み

国内外の市場展開を見据えた「出口戦略」の立案・実行に対する**伴走支援を実施**。

2023年度実績：
国の公募事業に**6件採択**



これまで72件が事業化（上市等）

★その他、メディカル部門新設、分社化、業許可取得、雇用増等の波及効果あり

デジタルコルポスコープ

- ・開発企業：
（株）エスケーエレクトロニクス（京都府）
- ・連携機関：
加藤外科産婦人科・乳腺クリニック（愛知県）
- ・概要：
子宮頸がんの検診等で用いられる医療機器。
小規模な婦人科クリニックの診察室でも扱いやすい
小型で省スペースなデジタル式のコルポスコープ。
高倍率のカメラと高鮮度LEDで鮮明な診察が可能



スパイラルリトラクター

- ・開発企業：
（株）オーゼットケー（大阪府）
- ・連携機関：
国立病院機構四国がんセンター（愛媛県）
- ・概要：
乳がん手術において切開創に挿入して全周的な
視野の確保ができる開創器
- ・その他：
製造業許可を取得2020年度Medtec
イノベーション大賞「チャレンジ賞」受賞
“関西ものづくり新選2019”にノミネート



LED照明付プラスチック開創器

- ・開発企業：
安井（株）（宮崎県）
- ・連携機関：
琉球大学医学部附属病院（沖縄県）
- ・概要：
先端の鉤部分が透明なプラスチックでできた
開創器。LED照明がついているため、開腹手術
などで体内の処置を行う際に、術野を明るくする
ことが可能
- ・その他：
2018年グッドデザイン賞受賞
海外展開拡大中

